

研究者に求められる役割とキャリア

いかにバランスを取り、キャリアを考えるか

開催日時：2024年3月10日（日）13:00～16:00

会場：日本体育大学 世田谷キャンパス 2204教室

●スケジュール

- 13:00～ 13:10 趣旨説明， 演者紹介
- 13:10～ 14:20 演者講演
- 14:20～ 14:50 パネルディスカッション
- 14:50～ 15:20 フロアとの質疑応答
- 15:20～ 16:00 グループディスカッション
- 16:00～ 閉会挨拶

閉会後に対面参加者は

情報交換会を予定しています。

●演者

- 笠野 英弘（山梨学院大学）
- 松田 知華（国立スポーツ科学センター）
- 小木曾 航平（広島大学）
- 佐野 加奈絵（関西大学）

方式：対面（原則として対面での参加をお願いいたします。

なお、対面での参加が難しい方については、zoomでの参加も可能です。）

主催：日本体育・スポーツ・健康学会若手研究者委員会

コーディネーター：雨宮怜（筑波大学）・石村広明（東京都立産業技術高等専門学校）
針谷美智子（新潟医療福祉大学）・柴田紘希（日本体育大学）

問い合わせ先：柴田紘希（wakatenokai.seminar2023@gmail.com）

申し込み先：<https://forms.gle/Eb1V5hSLEWS45ffv6>

参加希望の方は、3月7日（木）までに上記URLまたはQRコードより
お申し込みください。オンデマンド配信はございません。



● 登壇者プロフィール



笠野 英弘（山梨学院大学）

神奈川県生まれ東京育ち。山梨学院大学スポーツ科学部教授。博士（体育科学）。筑波大学第三学群工学システム学類を卒業後、ドイツに1年間サッカー留学し、帰国後、株式会社セリエ（サッカー大会の企画・運営）、日本スポーツ振興センター（総務やtotoの業務）に勤めながら筑波大学東京キャンパス社会人大学院体育研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻（修士課程）、同大学大学院人間総合科学研究科体育科学専攻（博士課程）に通う。その後、筑波大学体育系特任助教、山梨学院大学スポーツ科学部准教授を経て2023年から現職。同大学カレッジスポーツセンター副センター長兼務。専門はスポーツ社会学。主にドイツや日本のスポーツ組織を研究。

松田 知華（国立スポーツ科学センター）

愛知県出身。2017年に日本体育大学児童スポーツ教育学部卒業後、同大学体育科学研究科博士前期・後期課程を修了（体育科学）。博士後期課程時には日本学術振興会(DC2)および日本学術振興会若手研究者海外挑戦プログラムに採択。2022年度より国立スポーツ科学センタースポーツ科学・研究部研究員として着任し、研究および支援を行っている。専門分野は、「運動生理学」。女性の健康維持・増進、パフォーマンス向上に貢献したいという信念のもと、私自身も大変悩み苦しんだ「月経周期に伴うコンディションの変化」に着目し、研究に取り組んでいる。



小木曾 航平（広島大学）

愛知県出身。1983年生まれ。現在、広島大学大学院人間社会科学研究科准教授。早稲田大学大学院スポーツ科学研究科博士後期課程修了。博士（スポーツ科学）。専門はスポーツ人類学。著書に『よくわかるスポーツ人類学』（共著、ミネルヴァ書房、2017）、論文にA Contemporary History of a Traditional Sport: Ushiorase (Okinawan Bullfighting) (The International Journal of Sport and Society第13巻第2号、2022年) など。

佐野 加奈絵（関西大学）

京都府出身。2008年大阪体育大学を卒業。2010年まで大学職員として勤務、2015年同大学大学院博士後期課程を修了。同大学助手、立命館大学グローバル・イノベーション研究機構助教、森ノ宮医療大学講師を経て、2023年より関西大学人間健康学部に着任。専門分野は骨格筋メカニクス、スポーツバイオメカニクス。動作解析と超音波診断装置や表面筋電図などより得るヒト身体の直接情報から、高い運動効率やパフォーマンスなどを可能とするヒトの巧みな運動動作中の骨格筋の制御メカニクスの解明を目指し研究活動を進める。

